

聖書	ルツ 1 : 1 - 4 : 22
タイトル	ルツ
教案日付	2015年 1月25日

項目	イラスト	お話し
I	a 	モアブ人であるルツは、本当の神様を知りませんでした。モアブでは、人々が造ったにせものの神様を拝んでいたのです。
	b 	まもなくルツは、イスラエルからやってきた家族のお嫁さんになりました。
	c 	それでルツは、本当の神様を信じるようになったのです。
II	a	
	b 	しかし、ルツの夫の父親が死に、やがてルツの夫も、夫の兄弟も死んでしまいました。残されたルツたちは、食べるものにも困り、とても苦しい生活をしていました。

項目	イラスト	お話し
II c		<p>そこで、ルツの夫の母親であるナオミは、自分の生まれ故郷のイスラエルに帰ることにしました。ルツにとって、そこはまったく知らない土地でしたが、ナオミについて行く決心をしました。ルツは、ナオミに言いました。「あなたの行くところへ私もついて行きます。私もイスラエル人と同じです。あなたの神は私の神です。」</p>
III a		<p>ルツは、ナオミの親戚のボアズの畑に麦を拾いに行きました。それは、麦を刈るときには、貧しい人のために少し麦を残しておいたからでした。</p>
III b		<p>ボアズは、ルツが神様を信じたことや、ナオミにとっても親切なことを聞きました。それで、ルツがたくさん麦を拾えるようにしたり、食事もさせてくれたりしました。その頃、夫を亡くした女の人を親戚の男の人が助けるといふ決まりがあったので、ボアズはルツと結婚することになりました。</p>
III c		<p>やがて、ルツとボアズに、オベデという名前の赤ちゃんが生まれました。オベデはのちに、ダビデのおじいさんになる人です</p>
結論 (適用)		<p>ルツはナオミと一緒にいて神様を知ることができました。ナオミがルツに神様を伝えたように、私たちも、家族やお友達に神様のことを伝えられるようにお祈りしましょう。神様に頼る生活をするなら、神様は必ず守って下さいます。いつも神様に信頼し、頼ることが出来るようにお祈りをしましょう。</p>

使用方法

- 教案ガイドのイラストをプリントアウトして、裏面にお話しを記載する
- 聖書を熟読し、教案ガイドの教師ノートを参照すること